

# 未来を担う次の世代へ

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望あふれる明るい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

市長の任期も残り4カ月となりました。この4期16年間、市民や事業者の皆様のご理解とご尽力に深く御礼申し上げます。

さて、昨年8月末に、伊勢湾台風級の非常に強い台風第10号が発生しました。九州上陸後に勢力が急激に弱まり、幸いにも人的被害は出ませんでした。関係者の皆様には、昼夜を問わず先行排水の対応などを行っていただきありがとうございました。

4期目の重点施策として掲げた子育て支援については、地域子育て支援拠点施設「このゆびとまれ」の整備に続き、むつごろうランドに待望の大型複合遊具が完成しました。週末を中心に、市内外から多くの親子連れなどでにぎわいを見せています。さらには出産、小学校や中学校の入学の各節目において支給する市独自の

子ども・子育て応援金や子ども医療費の助成拡充を行うなど、子育てしやすいまちづくりを進めてまいりました。

リオオリンピック200メートルバタフライ銀メダリストの坂井聖人選手が、昨年6月27日に現役引退の報告に訪れてくれました。市民にたくさんの勇氣と感動を与えてくれた坂井選手のこれまでの功績をたたえ、市民栄誉賞を授与いたしました。今後は指導者として、次代を担う子どもたちに「諦めなければ夢はかなう」ことを伝えてくれることと期待しております。

元大関琴奨菊の秀ノ山親方が、昨年10月に佐渡ヶ嶽部屋から独立し、秀ノ山部屋を開設しました。九州場所では、高畑公民館を宿舍として構え、三柱神社に隣接する高畑公園内の土俵にて5人の力士が稽古に励みました。親方は「市民への恩返しのためにできることは何でも協力したい」と言っていた聞いています。今後も、柳川の秋の風物詩となるよう大いに盛り上げていき

たいと思っております。

1月25日には詩聖北原白秋先生の生誕140年を迎えるとともに、3月21日には1市2町の合併から20年の節目を迎えます。

今年はこちらを記念し、合併20周年記念式典を開催するほか、市内各地でさまざまな事業を実施していきます。多くの皆様と合併後の20年を振り返るとともに、この記念すべき年を祝いたいと考えております。

4月には、最初の再編小学校となる「やまと小学校」が開校します。これから新しい教育環境のもと、地域に愛される魅力ある学校づくりに取り組み、故郷のため、そして日本や世界のために、活躍する子どもたちがここから羽ばたいていくことを心から期待しております。

任期満了まで、各施策をさらに推進し、次世代へ確実にバトンをつなげるため、市民の皆様とともに全力で取り組んでまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

## さらなる開かれた議会を目指して

明けましておめでとうございます。柳川市議会を代表しまして謹んで市民の皆様にご挨拶申し上げます。

今年、1市2町が合併して20年の記念の年を迎えます。4月には長年の課題でありました学校再編も、最初の統合校である「やまと小学校」が開校することにより、いよいよ動き出します。私も今回統合となる小学校の卒業生でありますので、ひとかたならぬ感慨深い思いであります。今後将来の柳川市を担う子どもたちが元気に笑顔で登校する魅力ある学校になりますことを心から期待するところです。

市議会も合併直後は在任特別で、議員は53人でしたが、合併後の最初の選挙で30人となり、その後、議会改革特別委員会で議論を重ねながら議員数の削減に取り組み、現在は19人の議員で市民の皆様への負託に応えるべく活動しております。

現在、地方自治体では全国

的に議員の成り手不足が叫ばれています。本市では、市議会議員選挙において無投票は発生しておりませんが、今後このような事案に陥ることがないように、多様な議員の参画を図るとともに、若年層をはじめ幅広い世代に興味を持ってもらうため議会改革に取り組んでいくところです。

これまでの取り組みとして、平成27年に議会基本条例を制定し、市民の皆様の見解を直接聞くため議会報告会を開催するとともに、令和4年からはタブレット端末を導入し、今まで以上に市民の皆様との疑問や課題などに対し、分かりやすく、迅速な情報提供ができるよう努めてまいりました。

取り組みはまだ、道半ばではございますが、今後も議員間で議論しながら「さらなる開かれた議会」を目指し、市民の皆様の声に耳を傾ける新たな方法を模索してまいります。

私、昨年10月の臨時会において、議員各位のご推挙を

いただき、議長という大役を仰せつかり、就任から2カ月余り誠心誠意務めてまいりました。その間、議会や市政に対する市民の皆様への思いを感じ、あらためて責任の重さを痛感したところです。

また、それとあわせて、私たち議員一人一人は、二元代表制の一翼を担う市議会として、その役割と責任を自覚し、自己研さんに努めるとともに、執行部と両輪となり、是非々の立場で議論を尽くしていく必要があると感じております。今後とも公平公正な議会運営を目指して、微力ではございますが、誠心誠意努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご指導、ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、皆様の益々のご活躍とご多幸、ご健勝をお祈り申し上げます。本年がすばらしい1年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



柳川市議会議員 荒木 憲



柳川市長 金子 健次

秀ノ山部屋相撲教室で市出身の高口誠雄さんの胸にぶつかる児童